

## はじめに

アプル総合計画事務所は建築設計から地域計画まで幅広い活動を行うための組織として1984年夏、東京都文京区湯島の地で大野秀敏と中野恒明の二人のパートナーシップで始めました。アプルはA=建築、P=都市計画、L=協働、とし、多くの建築や都市の計画設計プロジェクトに関わってきました。この二つの領域は、都市という私たちの生活空間を支える重要な存在です。双方の専門領域を重ねあわせかつ補完することによって、身の回りの環境を総合的に考え、より創造的な活動を通して社会に貢献したいという共通の理念を掲げてきました。

その後、大野は東京大学、中野は芝浦工業大学の教授として、実践活動を踏まえ、後進指導の兼務を始めた2005年春、パートナーシップを解消し、より柔軟なネットワーク型チームに再構築すべく、大野はアプルデザインワークショップ(A D W)を設立し、現アプル総合計画事務所は中野を中心とした「都市計画から都市デザイン、景観設計」を志向する組織に生まれ変わりました。2017年春、中野が大学教授退任を機に現在地に移転、新たな態勢を構築し、様々なプロジェクトに関わっています。ここに36年間の軌跡を取りまとめました。

私たちは、現代都市のより複雑化した課題を抱える状況の中、そして従来型の建築・土木・都市計画・造園・工業デザイン等の分化した専門領域の中で、「都市デザイン」「景観」などのより総合領域に対処すること、そのためには建築家や土木エンジニア、ランドスケープアーキテクト、商業プロデューサー、照明デザイナーなどの各専門家集団とのコラボレーション、そして大組織との協同など、様々な人材等をコーディネートするネットワーク型のチームづくりを実践して来ました。そこが様々な地域で多くの市民の方々に支えられたまちづくりや都市デザイン活動を継続できた理由かと考えます。

## アプル総合計画事務所の主要な業務分類

### (1) 建築・都市デザイン

私どもの身の回りの住宅スケールから公共建築や都市スケールの企画～計画～設計・監理までを一貫して関わることを目指しています。これまで多くのまちに関わり、地域活性化のための構想から施設建築物・公共空間の設計まで関わってきました。私たちは価値のあるものを大切に保存、再生し、後世に残すことが地域文化の継承、省資源化社会への貢献と考えています。このような視点も踏まえ、建築から都市空間の全体のデザインコーディネートから計画・設計までを担当してきました。

### (2) まちづくり・都市計画プランニング・調査研究

また私たちは従来型の都市計画を超える、新たなまちづくりの仕組みを模索しながら、快適で活力のある都市環境、地区の環境を再構築することを目指してきました。その際には常に地域の市民目線でのまちづくり支援を貫きつつ、都市の総合計画から景観計画、修復型再開発、地区計画などのプランニング、そして市民参加・ワークショップ等を経て事後の維持管理面も含めたまちづかいまでを包含する活動の展開を行ってきました。

### (3) 公共空間デザイン（景観設計・ランドスケープデザイン）

公共空間全般（街路、河川、港湾、橋梁・ベデストリアンデッキ、駅、公園・広場など）の景観および環境設計の分野をも対象としています。門司港においては、ウォーターフロント緑地、街路、広場、橋梁等、その他横浜や新潟などではベデストリアンデッキに加え、広場・公園等のランドスケープデザインなどの一連の公共空間の設計を行ってきました。このように都市・自然を対象とした設計を通して、快適な環境づくりの実践活動を目指しています。土木構造物等の景観設計に関しては、専門の技術者集団、そしてコンサルタントの方々とのコラボレーションを旨とし、相互に補完する態勢を築いてきました。

## アプル総合計画事務所 36 年の軌跡＝「aplUD36」の編集・公開

2014年の30周年から6年を経過し、これまでの未掲載事例やその後の完成事例を加えたジャンル・テーマ別再構成しつつ、包括的に関わった北九州、横浜、東御は地域での拡がりでも編集しました。ご高覧戴ければ幸いです。

目次  
はじめに

①公共空間デザイン—まちの賑わい創出

東京・渋谷川清流再生—渋谷駅周辺再開発事業	— 4
新宿東口歩行者空間整備・オープンカフェ実施支援	— 6
柏駅東口歩行者専用高上式広場（ペデデッキ）改修設計	—10
那覇・国際通りトランジットマイル（出雲市駅矢尾線シンボルロード）	—12
出雲くにびき中央通り	—14
新潟駅駅舎・駅前広場	—16
<コラム>新潟駅駅舎・駅前広場設計プロポーザル 2003	—20
鹿児島みなと大通り公園	—21

②北九州における公共空間デザイン・景観整備・まちづくり展開

門司港レトロの環境デザイン	—22
門司港レトロの夜間景観計画（ライトアップ）	—26
旧門司税関保存活用・改修	—27
門司港はね橋（ブルーウィングもじ）	—28
門司港大連航路上屋保存活用・改修	—29
門司麦酒煉瓦館保存活用・改修	—30
門司港・和布刈地域振興基本計画	—31
門司港レトロ歴史的建造物活用計画	—32
門司港地区まちづくり総合支援のための基本計画	—33
門司港西海岸地区港湾関連用地活用検討および再編調査	—34
小倉駅南口駅前広場ペDESTリアンデッキ	—35
小倉駅北口浅野町線デッキ・あさの夕風公園広場部設計	—37
花と緑の小倉回廊／周辺街路整備	—38
小倉・紫川石の橋「勝山橋」にぎわい空間	—39
東田地区ふるさとの顔づくり計画および景観設計	—40
旧八幡製鐵所近代産業遺産（建築物）保存・利活用検討	—41

③横浜における建築・都市デザイン関連業務

神奈川県立芸術劇場・NHK 横浜新放送会館設計および都市デザイン調整	—42
横浜税関本関庁舎設計	—44
横浜・赤レンガ倉庫活用検討（2棟間広場整備計画等）	—45
みなとみらい 21 新港地区景観計画	—46
MM21 地区キング軸整備イメージ・デザインガイドライン	—47
MM21 地区基本協定関連規準等作成	—48
高島中央公園デザイン検討	—49
MM21 地区の歩道橋・高島中央歩道橋	—50
MM21 地区の歩道橋・みなとみらい歩道橋	—51
鶴見駅人道橋改修	—52
横浜万代橋・震災復興橋梁橋面工イメージ復元	—53
<コラム>横浜・左近山団地中央地区団地再生コンペティション（優秀賞・※）	—54

④東御市（長野県）における一連の整備構想～設計

東御市行政中心ゾーン（舞台が丘地区）リノベーション計画	—55
市庁舎改修・増築／中央公民館改修	—56
湯の丸高原高地トレーニング施設整備構想	—57
屋内体育施設・アスリート食堂設計監理	—58
東御市小学校長寿命化計画・小学校トイレ改修設計監理	—59

## ⑤ 歴史的まちなみ保全・歴史的資産の保存活用

亀岡駅南まちづくり構想策定調査	—60
結城・伝統的まちなみの保全とまちの活性化	—62
都しゃれまち条例・街並みデザイナー派遣・柴又駅天周辺地区	—64
南海電鉄・浜寺公園駅旧駅舎保存活用および広場改修	—66
<コラム> 浜寺公園駅駅舎及び駅前広場等計画提案競技 2013 (最優秀賞)	—67

## ⑥ 各地のまちづくり・都市計画

文京区絶対高さ制限を定める高度地区指定検討	—68
首都圏新タワー候補地の多角的分析・評価書作成	—70
大分市景観計画	—72
大分城址公園周辺地区景観整備計画	—73
大分駅南地区公共施設等デザインガイドラインおよび景観形成方針	—74
<コラム>九州大学新キャンパスマスタープランプロポーザル	—75
世田谷区都市整備方針作成/世田谷区生活道路整備計画のための基礎調査	—76
喜多見駅周辺まちづくり計画/多摩川沿い地域整備計画	—77
奥沢5丁目北地区まちづくり計画/大井町線沿線まちづくり基本方針	—78
二子玉川まちづくり方針(案)/区内大規模敷地の土地利用転換に関する基礎調査	—79
小田急線地下化上部区民アイデア集約等委員会運営	—80
調布駅周辺連立地下化による魅力的な駅前広場創出調査	—81
富山市総曲輪西地区整備構想	—82
富山駅周辺地区景観デザイン計画・プロポーザル要綱作成	—83
北見市都市再生整備構想	—84
<コラム>北見市旧百貨店ビル市庁舎コンバージョン計画(2003年建築学会技術提案競技最優秀賞※)	—85

## ⑦ 景観設計・ランドスケープデザイン・支援

松江・島根県立美術館前穴道湖護岸・岸公園	—86
東京都臨海副都心道路景観整備	—88
皇居周辺道路景観整備計画～設計	—90
皇居周辺道路景観設計	—91
皇居周辺緑地整備	—92
沼津中心部の一連の公共空間(橋・公園・広場・道路)整備	—93
高知宿毛・松田川河戸堰	—97
岐阜・長良川鵜飼大橋	—98
<コラム>各務原大橋プロポーザル応募案(優秀賞)2006	—100
飛騨古川・吉敷橋	—101
越谷レイクタウン・せいたかしぎ橋	—102
宇都宮中央通りシンボルロード/東京大学法文十字路	—103
埼玉県民芸術劇場周辺道路景観整備/川崎大師参道仲見世	—104
広島元安川・元安橋橋詰広場/広島太田川長寿園プロムナード	—105
浦安入船西団地ボンエルフ実験～改修	—106
<コラム>すだれの家/東日本大震災液状化被災地域の復旧支援	—107

## ⑧ 都市景観・ガイドライン等に関する研究調査

総合的な景観形成のためのコラボレーション手法検討/屋内式自転車等駐車場デザイン作法書(案)検討	—108
住宅市街地における街並み形成の研究/都市の景観を構成する素材材料研究	—109
望ましい建築・まちなみ景観のあり方研究/水辺における道路景観整備のあり方調査	—110
道路景観整備の今後のあり方調査/団地内道路の歩車共存道路計画設計指針	—111